

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第319号  
平成25年12月2日

練馬区立光が丘第八小学校  
校長 鈴木 隆志

あの日から1000日

校長 鈴木 隆志

東北新幹線に乗り、列車が仙台駅に着く手前で、車窓の左手に見えるのが仙台市立八軒中学校です。八軒中学校吹奏楽・合唱部は、2011年7月、東日本復興支援ソングとして『あすという日が』のCDをリリースしました。「いま生きていること いっしょうけんめい生きること なんて なんて すばらしい あすという日があるかぎり しあわせを信じて」と歌われています。この曲は、のちに夏川りみさん、秋川雅史さんがCDリリースしています。

今年の八小の運動会、5・6年生の組体操は『Rising Sun』がテーマでした。この曲は、EXILEの皆さんが、復興支援のために作った楽曲です。彼らは今も被災地を回り、「ダンスで日本を元気に！ 夢の課外授業 Rising Sun Project」を展開しています。

10月5日（土）に開催された光が丘音楽祭では、出場した6年生が『花は咲く』『明日を信じて』『ふるさと』の合唱曲を歌いました。『花は咲く』は、NHKの東日本大震災復興支援ソングです。『明日を信じて』は、小林真人さんによる楽曲です。『ふるさと』は嵐が歌う復興支援ソングです。

10月13日（日）に亡くなられた漫画家やなせたかしさんによる『アンパンマンのマーチ』も、震災被災救助活動応援歌として、被災地で何度も繰り返し演奏されました。

今年になってからも、海自の歌姫と称される三宅由佳莉さんの『祈り～a prayer』や、ドキュメンタリー映画「わすれない ふくしま」のエンディングソング『虹』がCDリリースされています。被災地を舞台にしたNHKの「あまちゃん」も大ブームになりました。

12月5日（木）、東日本大震災から1000日を迎えます。1000日経っても、復旧も復興もままなりません。今もなお、行方不明の方を探している人、今もなお、仮設住宅に暮らしている人、今もなお、ふるさとに戻れずにいる人、今もなお、仕事に復帰できずにいる人、皆さんは1000回の夜をどのような気持ちで過ごされたのでしょうか。1000回の朝をどのような気持ちで迎えたのでしょうか。被災地・被災者が“復活”するのは、一体いつになるのでしょうか。

私たちにできることは何なのか、その問いに明確に答えられずにいます。直接的には、何も手助けすることができずにいます。評論家的に語るつもりはありませんが、被災地や被災者に思いを向けている、ただそれだけです。光っ子たちに、人の痛みが分かる人間に育ててほしいと願うばかりです。

人の痛みが分かるということは、いじめや差別をしないということです。11月は、「いじめ一掃取組月間・ふれあい（いじめ防止強化）月間」でした。また、12月10日（火）は「世界人権デー」、4日（水）～10日（火）は「人権週間」です。今年は、光っ子の一人一人が『いじめ防止シンボルマーク』を考えました。いじめの実態アンケート調査も行いました。幸い、本校では現時点においていじめやいじめの疑いのある事例はありませんでしたが、各学級で、「いじめは絶対に許されない・許さない」という指導を徹底しました。

三宅由佳莉さんの『祈り～a prayer』の歌詞の一部を紹介します。「青い空に浮かぶ 白い雲のように 自由な風に乗って 強く生きていこう つまづきやためらい 心痛いときは いつもここにいるよ 君とともにいるよ いつも希望 夢 未来 祈ってる」被災者の方へ送られた言葉ですが、光っ子たちにも届けたいメッセージです。一人一人の思いを大切にして、そして、みんなでみんなの思い（心）を紡いでいく、それが光八小の目指す姿です。